

経営比較分析表

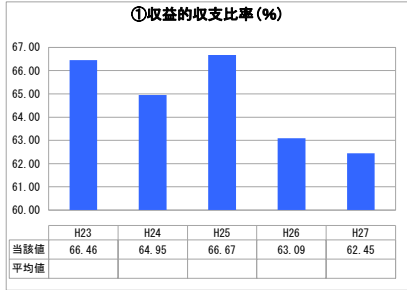
神奈川県 山北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	80.82	75.27

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,124	224.61	49.53
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,899	3.13	2,843.13

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

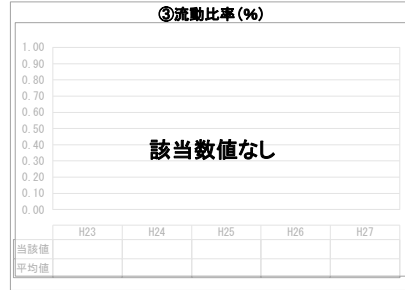
1. 経営の健全性・効率性



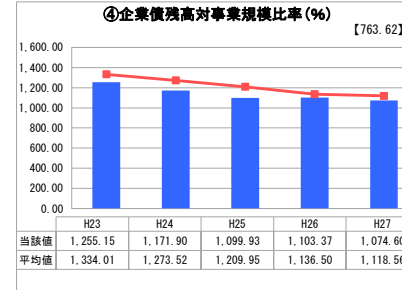
「単年度の収支」



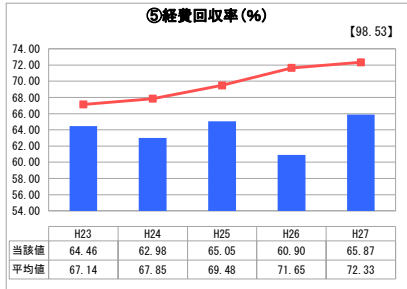
「累積欠損」



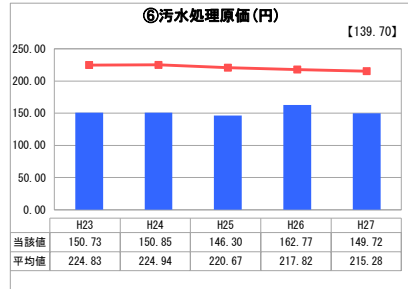
「支払能力」



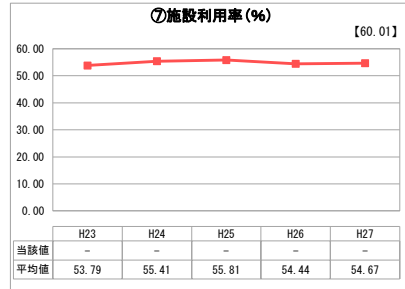
「債務残高」



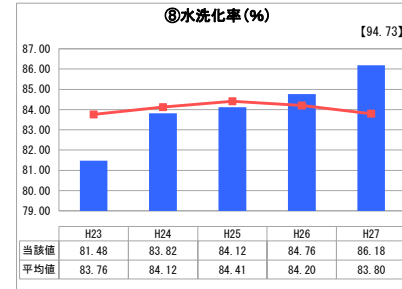
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

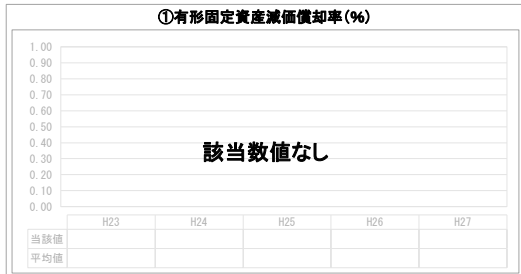


「施設の効率性」

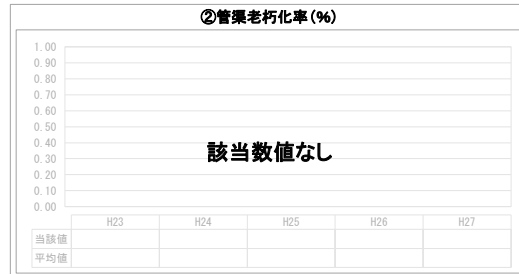


「使用料対象の捕捉」

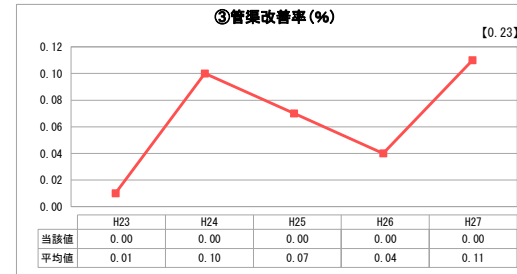
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

使用料収入と収益的収入の一般会計繰入金等だけでは、収益的収支比率が100%に達していないため、資本的収入の一般会計繰入金等で賄っています。また、経費回収率についても約65%と、前年度よりは向上しましたが、類似団体平均値より低く、汚水処理に係る経費を使用料だけでは賄うことが出来ません。そのため、一般会計繰入金を補っています。現在は適正な使用料収入の確保に向けて料金改定の見直しを行っています。また、類似団体の平均値よりは水洗化率は上回っていますが、使用料収入の増加を図るため、適正な料金改定と水洗化率のさらなる向上に向け、下水道事業の健全な運営のために、審議会の開催や啓発等を継続して行っていく予定です。

2. 老朽化の状況について

当町の下水道汚水管渠の布設は、一部地域を除いて平成元年から行っています。現在耐用年数を迎えている管渠はありませんが、平成元年より前に布設された管渠が10年後には耐用年数を迎えるため、この10年間でストックマネジメントを策定し、既存の管渠や設備の適正な維持管理や老朽化した管渠の更新を進められるよう検討していきます。

全体総括

収益的収支比率、経費回収率ともに100%に達しておらず、近い将来厳しい経営状況になることが予想されます。山北町は下水道使用料が安いので、現在料金改定等を検討中です。また、一定時期に集中して工事を行っているため、この先、管の更新時期が重なることや、今後老朽化対策費用の増大が見込まれるため、ストックマネジメント等を策定し、適正な維持管理が行えるように進めていきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。